

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 18 日

評価対象事業	健福 - 50	I C T活用健康づくり事業		☐ 法定受託事務	
所管課	健康福祉部 市民健康課			評価者	市民健康課長 那須 文嘉
一般	会計	款	20	項	5
目	5				
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉		施策の方針名	健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	市民、市内企業等	意図	健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。
効果	市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☒ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 令和8 年度） ☐ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	健康アプリ運用 ポイント制度管理運営	成果報酬支払	
予算額（千円）	22,310	15,814	
国県支出金			
地方債			
その他	1,381	430	
一般財源	20,929	15,384	0
当初人員配置数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	8,537	8,826	0
事業実績	健康アプリ運用 ポイント制度管理運営		
決算額（千円）	13,379		
国県支出金			
地方債			
その他	57		
一般財源	13,322	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	累計登録者数	人	7,400	↗	7,902		
	実績につながる活動	令和7年度の累計登録者数は502人で前年度より増加した。				13,379		
活2	指標名	アクティブユーザー数	人	3,412	↗	2,995		
	実績につながる活動	令和7年度のアクティブユーザー数は前年度より417人減少した。				13,379		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	猛暑などで外出を控えるような気候の場合、アクティブユーザー数に影響を与える。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	累計登録者数は順調に増えており、市民の健康に対する意識を高めることにつながり、健康維持増進につながったと評価する。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	令和7年度でアプリの運用は終了しているため、指標は設定しない。							

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	令和7年度でアプリの運用は終了しているため、指標は設定しない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☐ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☒ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☐ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☒ ③ 予算規模は縮小する	

	課題への対応	結果	具体的な内容
今後の取組方針（見直し方針）	前年度の新たな課題への対応結果		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		
	総評	令和7年度でアプリの運用は終了し、業者への成果報酬を支払いを行い、令和8年度末で事業を終了する。このアプリは1日の目標歩数の達成、体重の入力などすることによりポイントが貯まり、そのポイントを様々なギフト券に交換できる。それにより、市民等の健康に対する意識を高め、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができるようにし、医療費の削減に寄与してきた。しかし、想定より医療費の削減が進まなかったため、事業を廃止することとなった。	
			上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	ICTを活用した健康ポイント事業の実施状況 ※神奈川県開発のアプリを使用								
団体名	鎌倉市	横浜市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績		○	○※	○	○※				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	ICTを活用した健康ポイント事業を実施する等、幅広い世代を対象とした健康づくりの施策を講じている自治体の動向を参考にする。
----------------------	---